6　本時案【1年】（第2次2/7）
(1)主眼　きつねのしたことを、絵本にまとめることができる。(2場面)
(2)準備　2場面のワークシート　短冊　挿絵　さけの切り身の絵
(3)展開

前時の学習	くまじいさんのしたことを見つけ、絵本に正しく清書することができた。

教師の働きかけ	予想される児童の反応	学習活動・内容	わたり
○挿絵を黒板に展示し、登場人物を確認する。	・元気よく音読する。　1	本時の場面を音読し、学習場面を確認する。	
○「きつねは、　」まで書いてある短冊を準備する。 ○文末表現（文の終わりの言葉）に注意して見つけるように助言する。	きつねのしたことを見つけよう。		
○大きなさけの切り身の半分を黒板に提示することにより、前時の学習を想起させる。 ○音読させることにより、2つのつながりが、よく分からないことに気づかせる。 Tどうしてうさぎくんにはんぶんあげたのかな。	○短冊にきつねのしたことを書き出す。 ・きつねは、はんぶんをたべました。 ・きつねは、ぐつぐつとにてたべました。 ・きつねは、うさぎにあげました。 ・きつねは、「おいしい。」といいました。 ・「きつねは、はんぶんをたべました。」と「きつねは、ぐつぐつとにてたべました。」は同じだ。 ・「たべました。」のところが同じだ。	2 「きつね」のしたことを短冊に書き出す。 ・さけをにてたべました ・さけをうさぎにあげました 3　短冊をお話の順に並べる。 ・きつねは、さけをにてたべました ・きつねは、さけをうさぎにあげました	
●きつねのしたことを正しく清書できたか。 ○正しい標記になるようにワークシートに朱書きを入れて修正させる。	○うさぎさんにはんぶんあげたわけを考える。 ・さけがおおきすぎたから ・うさぎさんにもたべさせたかったから ・やさしいから ・ひとりでたべきれないから	・きつねのあたたかい人柄	
	○黒板を見て、ワークシートに清書する。 ・	4　絵本に清書する。 ・正しい表記	
○穴あき板書をして、言葉を入れさせることにより、大切なことをワークシートにまとめることができるようにする。	・きつねさんは、（やさしいね）。	5　本時のまとめをする。 ・きつねのあたたかい人柄 ・「～しました。」という文末の形	

6　本時案【2年】（第2次2/6）
(1)主眼　えっちゃんの気持ちがわかるような「つぶやき集」をつくることができる。(2場面)
(2)準備　2場面の「つぶやき集ワークシート」
(3)展開

前時の学習	1場面から、帽子を大切に思うえっちゃんの気持ちが分かることばを見つけることができた。

わたり	学習活動・内容	予想される児童の反応	教師の働きかけ
	えっちゃんの気持ちが分かる言葉を見つけよう。		○前時の学習で人物の気持ちが、「会話文」によく表れて
	1　本時の場面を音読し、えっちゃんの気持ちがよく表れている「会話文」を見つける。	・一文交代で、音読をする。 ・会話文に線を引く。	○いくつかの会話文の中から「へんねえ。」という会話文に焦点化する。 ○「へんねえ」という言葉は、生活の中でどのような使われ方をするか想起させる。
	2「会話文」からえっちゃんの気持ちについて考える。 ・「それ、あたしの　ぼうしよ。」 ・「名前を見てちょうだい。」 ・「へんねえ。」	○「へんねえ。」という言葉にこめられているえっちゃんの気持ちを考える。 ・ぜったい自分の帽子だ。 ・ひょっとするときつねの帽子かも。	
	3「へんねえ。」という言葉にこめられている内言と証拠となる文をワークシートにまとめる。	・もう　一ど ・たしかめよう ・ほんとうにそう見えます	
	4「つぶやき集」に書いたえっちゃんのつぶやきを友だちと交流する。 ・えっちゃんの帽子に対する強い気持ち ・証拠となる言葉	・「もう一ど」という言葉から、わたしのぼうしだからあきらめないでたしかめよう。	T　もう一どたしかめようとしたえっちゃんは、あきらめているのですか。 ●叙述の中から帽子が大切だというえっちゃんの気持ちが分かることばを見つけることができたか。 ○1場面で「ぎゅうっと」帽子をかぶったえっちゃんの気持ちを想起させる。
			○穴あき板書をして、言葉を入れさせることにより、大切なことをワークシートにまとめることができるようにする。
	5　本時のまとめをする。 ・えっちゃんの帽子を大切に思う気持ち ・しぐさのことばから、気持ちが読み取れること	・えっちゃんは、ぼうしを（大切に）思っている。	